

菊名小学校建替えについて 地元向け説明会

令和5年6月17日(土) 13:30 から 菊名小学校体育館にて

説明内容：

菊名小学校の建替え計画が地域町内会長などを中心とした検討会を経て、基本設計が完了したため、全体スケジュールと工事ステップを説明しました。工事期間中、グラウンドが使えなくなるため、体育授業の確保策など現在の検討調整状況を説明しました。工事ステップの説明では、北門が使用できなくなる期間が生じることを説明し、その代替策の検討状況について説明しました。現在学校敷地内を自由通行できている地域動線が工事期間中通行止めになること、今後地域動線のあり方を検討することを説明しました。



質疑応答での主なご質問、ご意見は次の通り

ご質問・ご意見	回答
工事資材搬入経路の道路損傷が心配である。補修修復まで計画されているか。	搬入経路などについては、工事施工者決定後、検討し詳細な計画を立て、事前の工事説明会にて説明します。工事中、工事後の道路損傷については、土木事務所と調整し、補修等行っていきます。
グラウンドに仮設校舎を建てるとのことだが、体育の事業は外で行えるのか、休み時間などどこで遊べるのか。	体育館は残るので、体育館を使った授業は継続できます。休み時間も体育館を開放します。上の宮中学校のグラウンドを使わせていただく約束になっています。また官民間わず、施設が利用できないか交渉中です。
運動会はどうなるのか。	実施予定。場所は交渉中。練習はできないので、運営方法は工夫します。
池は残すのか。	観察池は残します。
地域防災拠点機能は残るのか。	仮設校舎、新校舎建設時にも地域防災拠点機能は、継続されます。ただし、時点により拠点機能の範囲は異なります。区と調整いたします。
工事施工中の不審者対策は	工事エリアと児童の利用エリアは明確に分離されます。学校としては、現在も昇降口を施錠しております。工事中は、校門を施錠管理します。
学校の周辺にあるがけは、がけ崩れなどの支障はないか。地盤改良などするのか。	仮設校舎は、地盤改良などせず、直接基礎を施工します。新校舎は、杭にて建物を支えるため、がけに影響を与えません。土砂災害警戒区域については、その部分に手を加えません。そのエリアから離隔をとった建物配置を行います。
建物の面積、高さは	現在設計中のため、詳細の数値は確定していませんが、現状より面積は増えます。高さは現状とあまり変わらない予定です。今後、中高層保全条例による説明会にて、お伝えいたします。
工事期間などに変更はあるのか	今後、工事施工者が決まった時点で、詳細なスケジュールが決定

	します。ほかの事例に基づき大まかな工期を判断していますが、地中障害など、不確定要素もあります。現時点では、予定としてご理解ください。
北門の閉鎖時期に東門を使うとのことだが、対応は	安全対策をした上で、工事上の誘導員配置、児童の指導として学校側の協力を得た上で、東門を利用することになると考えています。
迂回ルートを設定する際には、スクールゾーンの設定をしていただきたい。子どもたちにも安全について自覚を促すよう調整をお願いしたい。	ご要望として承ります。
コロナの制限を受けた期間を考慮し、工事期間の見直しはできるのか。例えば、3年間の延期など、決定の理由などもお答えいただけるか。	持ち帰り検討後決定し、報告します。
工事期間を短縮できないか。	通常の場合工期を短縮することは、検討しており、経費節減の意味でも工事施工者は、短縮に努力しています。その上で工期がかかっており、最短の期間を示しています。
情報共有、一元化するホームページなどを設定してほしい。	検討します。
地域動線の交通量を事前に調査しているか。周辺の交通量が増えないか不安がある。	令和2年10月、11、12、13、17日の4日間実施。朝の時間帯、夕方の時間帯それぞれ、50～70人が地域動線を利用されている。月曜日の通学時間帯は、10名程度、夕方も10名程度となっている。自転車などの通行も含んだ数値です。交通安全の注意喚起など、情報発信を行います。
工事施工者の通勤時などの対応、児童との環境分離をしてほしい。	詳細は、工事施工者が決定後説明できると思いますが、熱中症対策などで工事エリア内に休憩所を作ることは通例となっています。環境は分離されると思います。
東門の利用は工事エリアと近すぎないか。	安全対策などを、工事施工者としっかり協議し対応します。
正門の周りは、工事車両が入る際に子どもたちの安全エリアを確保してほしい。	ご意見を取り入れ、工夫いたします。
迂回路が長期間続くようであれば、特に尾根道のどちらを通行すればよいかなど、ひと目でわかるマークなどの設置を検討してほしい。	ご要望として承ります。
尾根道を工事車両が通行しますか。時間指定の制限などもありますか。	工事施工者決定後、調査検討し詳細な計画を立て、事前の工事説明会にて説明します。場合によっては、警察協議を行った上で、時間指定を解除して通行することもあります。その際は誘導員をしっかりとつけるなど対策を取り、警察からの指導に従うことになります。

<p>尾根道も地盤が悪いところがあるので、戸建て住宅が揺れないよう、通行速度を落としてほしい。</p>	<p>工事施工者決定後、調査検討し詳細な計画を立て、事前の工事説明会にて説明します。</p>
<p>通学路を迂回させる場合、PTA や保護者との連携は。地域の自発的ボランティアさんとも連携してほしい。</p>	<p>地域ボランティアの方の情報が教育委員会事務局にはないので、学校と連携して情報を集めます。情報発信の方法も検討いたします。</p>
<p>北側の桜の木の花びらなど困っている。根本的な解決策をとっていただきたい。</p>	<p>検討いたします。</p>
<p>地域動線のあり方は、通行については長い歴史がある。通行量は、多い時で1日120名ほどと聞いている。しっかり検討してほしい。</p>	<p>まずは、工事都合で一旦通行中止します。安全面での懸念があることは認識しています。ただし、その後のあり方について、教育委員会として慎重に議論し、時間をかけて結論を出します。</p>
<p>地域動線を残してほしいと考えているが、学校の敷地と分筆などして切り分けて設置できないか。</p>	<p>これまでも敷地の南側を通るルートの検討をしたが、高低差が非常に大きく高齢者やベビーカーの通行が困難であることがわかりました。その後の維持管理など課題があることも、建設にも維持にも相当お金がかかることがわかっています。そういったことを含めて教育委員会として議論し決定していきます。</p>
<p>家屋調査、アスベストの対応は、地盤沈下など対応は、害虫、害獣の対応は</p>	<p>近接している範囲の方の建物に対して、事前、事後の家屋調査を実施しています。アスベストが含有している場合は、法律に基づき処理を行います。騒音については、低騒音型の機具を使うなど工夫します。県条例に規定されている騒音、振動を超えないよう工事を行いますが、感じ方に違いがありますので、その際は直接現場事務所に申し出ていただき、その都度対応するようにできると思います。害虫や、害獣は調査の上、殺虫、殺鼠など対応した事例がありますので、いただいたご意見を参考に対応を考えます。</p>
<p>今回の説明会での回答はいつなされるか。</p>	<p>基本的には、この場でお答えしている。工事に関する内容は、今後開催される工事説明会での回答になります。工事を延期してほしいというご意見については、持ち帰りお答えすることになると思います。</p>